# 第２回徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会　資料　「徳島駅周辺まちづくり計画における整備方針（案）」概要版

・駅周辺に導入すべき都市機能は？
・にぎわいを創出するためのソフト事業は？

## 都市機能集積による都市のにぎわい創出

駅周辺に主に居住者を呼び込むための機能

駅周辺に主に来訪者を呼び込むための機能

**① 居住機能**（資料２：Ｐ９～Ｐ13）
- にぎわい創出につながる**生産年齢人口や年少人口の割合の向上**に向け、**良好な住宅を供給・誘導**していくとともに、日常生活に必要な商業機能の充実により、**生活の利便性向上**を図る

**②業務機能**（資料２：Ｐ14～Ｐ17）
- 今後の人口減少等を踏まえると、従来のオフィスビルの供給等は現実的でなく、総合戦略に掲げた**大学と連携した起業支援**や**女性の就業促進**に係る機能といった**新規性のある機能**を誘導する

**③商業機能**（資料２：Ｐ18～Ｐ22）
- 現在の商業集積を維持しつつ、**居住者向けの商業機能**や、**観光客（インバウンド含む）向けの商業機能**を誘導する

**④文化・スポーツ・レクリエーション機能**（資料２：Ｐ23～Ｐ25）
- より多くの集客を目指して、**新ホールと周辺施設との連携等**により、駅周辺のにぎわいを面的に広げる
- 全市的な**公共施設との統廃合も視野**に、施設が有する機能を維持・更新・強化し、多くの人を吸引していく

**⑤観光関連機能**（資料２：Ｐ26～Ｐ33）
- **広域的交通ネットワーク強化**や**年間を通じた観光資源の整備**により、国内外・県内外からの観光客を呼び込むとともに、**ニーズに沿った多彩な観光情報を提供し、多言語に対応した新たな観光案内所等を整備する。**（広域的な連携により、香川県にて急増している外国人旅行者を徳島にも呼び込み、賑わい創出に繋げることも重要な観点）

**⑥教育・子育て関連機能**（資料２：Ｐ34～Ｐ37）
- 小学校が駅に隣接しているなど、子育て世代を受け入れる素地を有している。**子育て関連施設について、地域ごとのニーズ量などをもとに適切な施設配置や量の拡大、並びに質の向上を図る。**

**⑦医療・福祉機能**（資料２：Ｐ38～Ｐ40）
- 医療施設については、産婦人科や小児科も駅周辺に既に立地しており、現時点で、**積極的に医療機能を強化していく必要性は低い**と捉えられる
- 福祉施設についても複数立地しているものの、にぎわい創出とも関連性が低いと捉えられることから、**駅周辺での機能誘導は行わない**

・活かすべき徳島駅周辺の地域資源は？
・その地域資源の活用方策は？

## 魅力ある公共空間の創出

**① 緑の資源（眉山・中央公園）の活用**

**＜眉山＞**（資料２：Ｐ44～Ｐ46）

| | |
|---|---|
| **機能強化** | ● 年間を通した**各種イベントの開催**（まち歩きでの歴史散策等） |
| **景観形成** | ● 駅周辺での**視点場**の確保、視点場からの**眺望を確保する景観誘導**（街路樹、横断歩道橋、ファサード等の改善） |
| **アクセス性向上** | ● シンボルゾーン（駅前広場・駅前通りなど）における**歩行者動線**の整備<br>● 新しい**回遊手段**（ｺﾐｭﾆﾃｨｻｲｸﾙ等）の確保 |

**＜中央公園＞**（資料２：Ｐ47）

| | |
|---|---|
| **機能強化** | ● **鉄道車両基地跡地**を活用した機能強化<br>● スポーツ施設と連携した**健康関連機能**導入<br>● 寺島川の復元 |
| **景観形成** | ● 駅周辺での**視点場**の確保<br>● 視点場からの**眺望を確保する景観誘導** |
| **アクセス性向上** | ● 連続立体交差事業による**動線整備**（駅北口開設、北口への交流広場整備）<br>● 新しい**回遊手段**（ｺﾐｭﾆﾃｨｻｲｸﾙ等）の確保 |

**②水の資源（新町川・助任川）の活用**
（資料２：Ｐ48～Ｐ49）

| | |
|---|---|
| **機能強化** | ● **プロムナード**の連続的整備 |
| **景観形成** | ● 駅周辺での**水を感じられる空間**整備 |
| **アクセス性向上** | ● シンボルゾーン（駅前　広場・駅前通りなど）整備による**歩行者動線**整備<br>● ひょうたん島**クルーズ船乗り場や検討中の川の駅ネットワーク構想に掲げる川の駅等の整備** |

・駅周辺へのアクセス向上に必要な事項は？
・駅周辺の回遊性向上に必要な事項は？

## 駅周辺へのアクセス性・回遊性の高いモビリティ

**①駅前広場**

**＜駅周辺へのアクセス性＞**（資料２：Ｐ53）
- 市内最大、四国有数の交通ターミナルとしての機能強化

**＜駅周辺の回遊性向上＞**（資料２：Ｐ56）
- 鉄道南北の連絡、環境空間や交流機能の拡充

➡ **南北一体で捉える駅前広場**

**②ネットワーク**

**＜駅周辺へのアクセス性＞**（資料２：Ｐ54）
- 踏切除去等のボトルネックの解消（資料２：Ｐ56）

**＜駅周辺の回遊性向上＞**（資料２：Ｐ57）
- 使い方に合わせた道路空間の形成や動線の連

➡ **ボトルネック状況、道路の使われ方の把握**

**③移動手段**

**＜駅周辺へのアクセス性＞**（資料２：Ｐ55）
- 自動車に依存しない公共交通による交通体系の牽引

**＜駅周辺の回遊性向上＞**（資料２：Ｐ58）
- 快適な回遊を促す仕掛けづくりが必要

➡ **駅周辺を中心とした公共交通利便性回遊の仕掛け**

ＷＥＢ調査や実態調査により、
駅前広場や駅周辺の使われ方に関する
データを収集

**鉄道高架事業の効果を活かしながら、公共交通を中心としたまちづくりを展開**